

近畿地方整備局港湾空港部の主な学習活動()の概要について

市民や学校などが参加申込や協力依頼できる学習活動を「主な学習活動」としている。

1. みなとの総合学習の組み立て

みなとの総合学習を近畿地方整備局港湾空港部としてサポートするため、次の3つのプログラム等が組み立てられている。

出前レクチャー

専門家講師による講演

生の声を聞いて社会を知る

具体的な話から理解を深める

ex. ・地域とみなと

・暮らしを支えるみなとの仕事

・安全な暮らしとみなと

・船と船員さん

フィールドワーク

港の資源を見学する

様々な業種、営みが集まる港の役割を知る

目で見て、耳で聞いて実体験から理解を深める

ex. ・船

・コンテナターミナル

・倉庫

・工場

・まちを水害から守る施設

・船を守る施設

・海とみなとの学校

テキスト

児童用・生徒用テキスト

教師用ガイドブック

これらを適宜組み合わせ、オリジナルの授業を組み立てることが可能である。

と については、近畿地方整備局港湾空港部に相談されたい。

担当部署：港湾空港振興室 Tel：078-391-3102 Fax：078-325-8288

E-Mail：minato@pa.kkr.mlit.go.jp

については、近畿地方整備局港湾空港部のホームページでも公開されている。

<http://www.pa.kkr.mlit.go.jp/study/pdf/class.shtml>

2. 学習活動例（カリキュラム例）

(1) テーマ

「バナナ旅行記」

(2) 課題発見

導入・・・生産、消費の流れ

学習計画・・・資料やWEBを使った情報収集、疑問点の整理

フィールドワーク・・・スーパーの人にインタビュー

調べ学習とまとめ・・・グループごとに学習方法やスケジュールを決定

(3) 課題解決

出前レクチャー・・・フィリピンからの留学生に聞く、おいしい食べ方

フィールドワーク・・・バナナ倉庫の見学



(4) 課題整理

調べ学習とまとめ・・・追加情報と、バナナの旅行記づくり

情報発信・・・バナナの旅行記発表会



3. 支援実績

平成 15 年度

- ・小中学校・・・延べ10校 765人
- ・教師向け見学会・・・3回 38人

4. その他

9. 海とみなとの相談窓口

平成8年に「海の日」が国民の祝日となって今年で7年目となるが、国民の海やみなとに対する関心は年々高まりを見せている。

しかし、地域の方々からは、行政機関の窓口がわからないといった声も聞かれていたところから、海やみなとに関する地域からの様々な相談に応じ、地域に密着した港湾行政を展開していくための相談窓口を設置した。
(2003.6.20、全事務所含めて開設)

フリーダイヤル:0120-497-370

